

メンテナンスツール 【データリストアツール】 操作手順書

Ver:1.0

バックアップ・リストアツールのご説明

リアテナントに保存されたデータのバックアップを行うことで、後でバックアップデータを使ってバックアップ時点のデータにリストアが可能です。

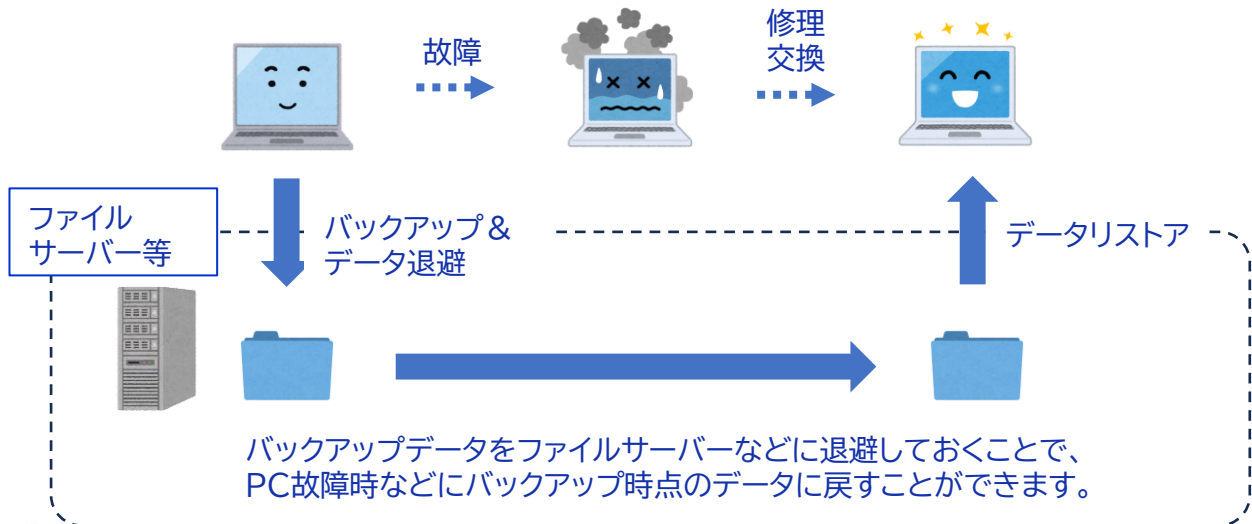
【バックアップ・リストアの利用ケース】

- ・データを別のPCに移行したい場合(PCの入れ替え時など)



移行元PCからUSBメモリ等にバックアップデータを退避し、退避したデータを使って移行先PCでリストアを行うことができます。

- ・過去のある時点のデータに戻したい場合(戻したい時点のバックアップデータが必要です)



【本ツール利用の前提条件】

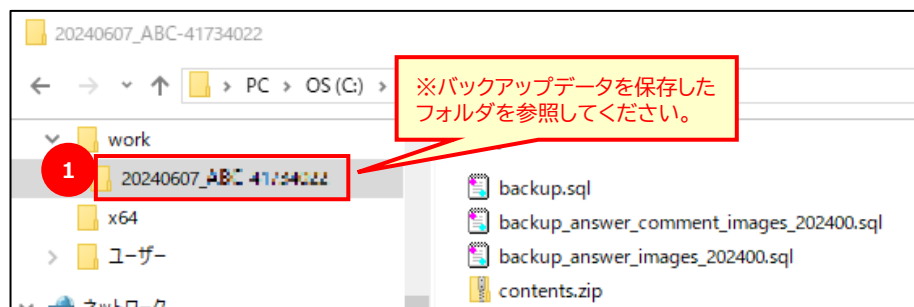
- ・バックアップ元PCとリストア先PCに、同一バージョンのリアテナントがインストールされていること
※バージョンが異なる場合、正しく動作しない可能性があります。

【注意事項】

- ・一時保存しているデータに関しては、リストアできない場合があります。
- ・バックアップ元PCのデータは、リストア先PCで正しくリストアできることを確認してから削除することを推奨します。

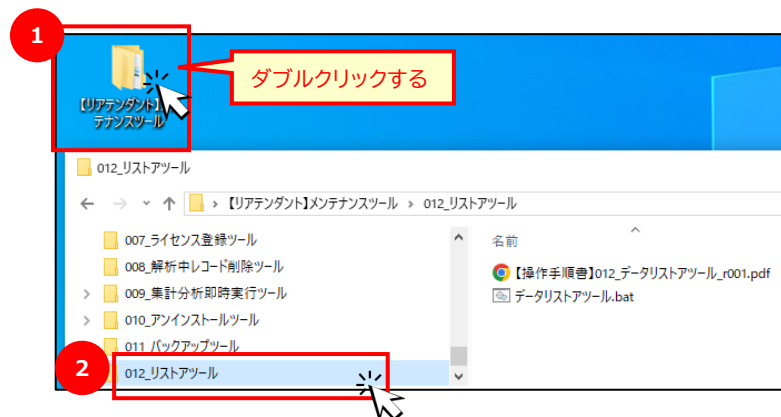
1. リストア先PCでバックアップデータを表示する

- ① バックアップデータを保存したファイルサーバーやUSBメモリ等のフォルダが表示できる（開ける）ことを確認します。



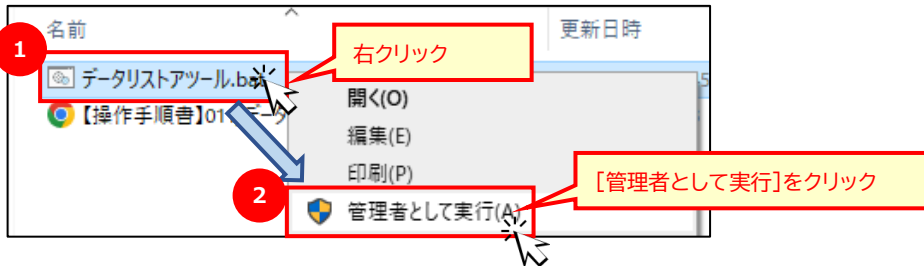
2. リストア先PCのツールフォルダへ移動する

- ① リストア先PCのデスクトップにある【リアテナント】メンテナンスツールを開きます。
- ② 【012 リストアツールフォルダ】の中に移動します。

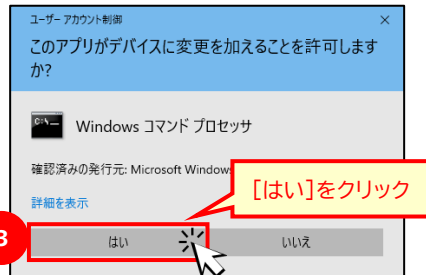


3. ツールを実行する

- ① [データリストア.bat]をクリックして選択します。
- ② 右クリックして、[管理者として実行]をクリックします。

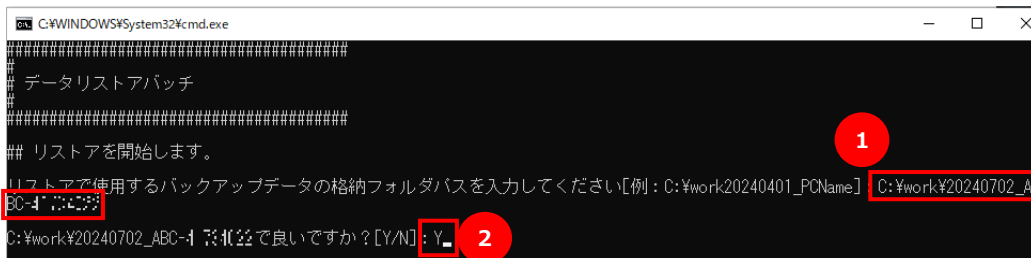


- ③ 確認のダイアログが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



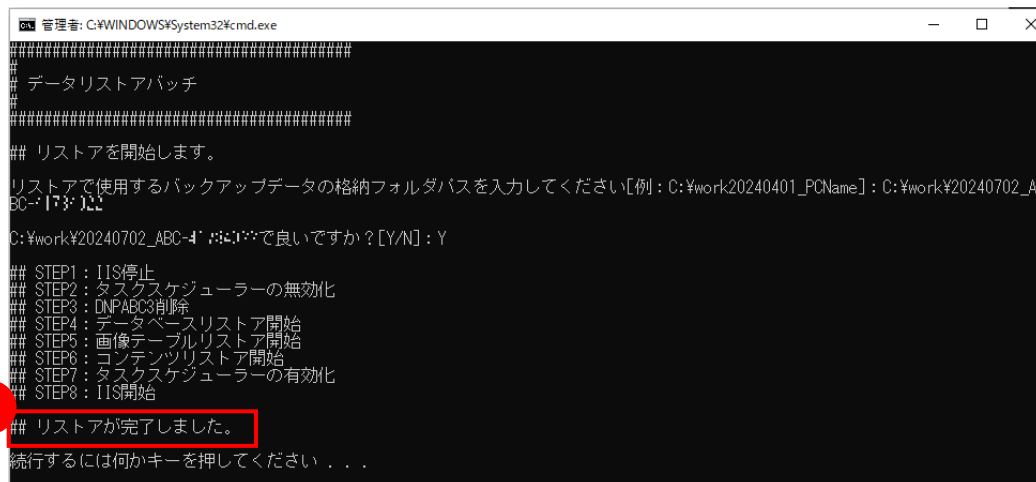
4. バックアップデータの格納フォルダパスを入力

- ① [リストアで使用するバックアップデータの格納フォルダパスを入力してください]のメッセージが表示されますので、バックアップ先フォルダパスを入力してエンターキーを押下します。
(手順「1. リストア先PCでバックアップデータを表示する」で参照したフォルダパス)
※フォルダのパスは、エクスプローラー等からパスをコピーして、コマンドプロンプト上で右クリックするとペーストできます。
- ③ 確認メッセージが表示されますので、[Y]を入力してエンターキーを押下します。



5. 実行結果を確認する

- ① [リストアが完了しました。]が表示されていることを確認します。
- ② 何かキーを押下するとダイアログが閉じてツールを終了します。



```
管理者: C:\WINDOWS\System32\cmd.exe
#####
# データリストアパッチ
#####
## リストアを開始します。
リストアで使用するバックアップデータの格納フォルダパスを入力してください[例: C:\work\20240401_PCName]: C:\work\20240702_ABC-123
C:\work\20240702_ABC-123 で良いですか? [Y/N]: Y
## STEP1: IIS停止
## STEP2: タスクスケジューラーの無効化
## STEP3: DNPABC3削除
## STEP4: データベースリストア開始
## STEP5: 画像テーブルリストア開始
## STEP6: コンテンツリストア開始
## STEP7: タスクスケジューラーの有効化
## STEP8: IIS開始
## リストアが完了しました。
続行するには何かキーを押してください...
```

6. データリストア状況を確認する

- ① リアテナントにログインします。
- ② バックアップ時点のデータがリストアされていることを確認してください。